



【納入機器】

暖全ヒート SHDV112A×6台
SHDV160A×4台

北海道虻田郡
喜茂別町役場 様

DANZEN HEAT
暖全ヒート



**CO₂排出量が少ないのが、いちばんの魅力。
温度ムラで足元が冷える、といった悩みも解消しました。**

ご採用の経緯

温風暖房機の老朽化で更新を検討

- 喜茂別町は内陸にあるため寒さが厳しく、年間平均温度は5.6℃、1月の平均気温は-7.6℃で、場所によっては-25℃以下になることも少なくありません。
- 以前は1階の機械室にダクト形の燃烧式温風暖房機（暖房能力250,000kcal/h）を設置して使っていました。
- この温風暖房機は天井片側方向からのダクト吹き出しのため、室内に温度ムラが発生して、天井付近の室内上部は暖かいのですが、足元は寒くて冷え込みが厳しい、といった状態で困っていました。
- その暖房機が老朽化してきたため、入れ替えを検討することにしたのです。



1階事務所



2階事務所



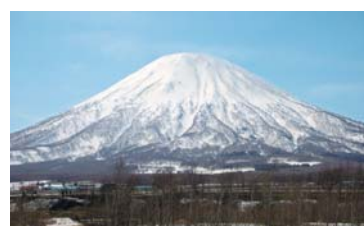
室外機

省エネ性・速暖性・クリーン性が魅力

- ちょうど昨年、空気清浄機を採用した際、ダイキンの営業の方から空気清浄機の説明と併せて暖全ヒートの説明を聞いたことが記憶に残っていました。
- そこで、さっそくダイキンさんに連絡をして、再度、暖全ヒートについての詳しい説明をしていただくことにしたのです。
- すぐに暖まる速暖性や、空気を汚さないクリーンさなど、魅力はたくさんありましたが、いちばんの採用理由は、国の施策でもあるCO₂排出量削減の効果が高いことでした。

寒さが厳しい喜茂別町でも、十分な暖房力を発揮

- 実際に暖全ヒートを使ってみると、温度ムラが解消されて、立ち上がりも早く、これまでの暖房機に比べてすこぶる快適です。
- それに以前の暖房機は厳寒のピーク時には灯油代がかなり高額にかかっていましたが、暖全ヒートへの更新で光熱費はかなり削減できそうです。
- CO₂削減効果が見込めるだけでなく、喜茂別町のように寒さが厳しい場所でも十分な暖房力を発揮し、期待以上に快適さもアップして、大変満足しています。



日本百名山の羊蹄山にいだかれた町